

松 並 木

第119号

(事務局)
041-1112

北海道七飯高等学校PTA

亀田郡七飯町鳴川五丁目一三十一

電話 〇一三八 六五―五〇九三番

FAX 〇一三八 六五―七〇二六番

明けない夜はない

PTA会長
瀬 戸 聡

気温が少しずつ下がり高校の周囲の木々も色づき始めました。今年度の前期を終え残す所、半年となりました。前期を振り返りますと七月には緑峰祭が無事に行われました。昨年の中止という事態から一年が経過し、今年、開催でき本心に安心しました。子供達にとって高校生活の大事な一つの思い出を作ることができ保護者としても嬉しい限りです。残念ながら保護者の参加は叶いませんでしたが、子供達の取り組みの様子などはホームページなどから窺い知ることができました。有志団体によるバンド演奏やダンス披露、クラスパフォーマンスなどの写真を拝見すると、子供達の笑顔が思い浮かぶと同時に「見てみたかったなあ」と微笑んでしまいました。また、子供達の懸命な取り組みにより無事に終了することができた証しにPTA研修部学校

祭係より校章入りの「金メダルあんばん」を贈ることができました。詳細な様子はホームページでご覧頂けますので是非ご参照下さい。

さて後期に関しましても見学旅行をはじめとした行事が予定されています。現状としてどこまで行えるか解らない状況ではあります。何とか少しでも子供達のためにける環境作りが必要となります。ご家庭、学校が協力し少しでも高校生活が貴重な日々となるよう願っています。こうして

寄稿するたびに自分に何ができるかを考えつつ、二年前の生活に戻る日を待ち望んでいます。



「当たり前」ということ

校 長
竹 内 琢

前号の原稿執筆時と同じく現在も何回目かの緊急事態宣言が発出されています。本校における対応についてお知らせする文書を状況が変わる度に発出しておりますが、その回数も度重なり分かり難くなっておりますこと、この場をかり、お詫び申し上げます。様々な情報が飛び交っていますが、今はまさに、正しい知識・情報に基

づき正しく恐れることが最も大切なことであると改めて痛感しています。

さて、私事ですが、昨年からの不要不急の外出自粛要請で、巣ごもり時間をもてあまし、少し前に読み流した本を手に取ることが多くなってきました。そんな中、三年ほど前に出版された「学校の『当たり前』をやめた。」が、目にとまり、ざっと読み返してみました。教育改革真っ盛りの折、刺激的な表題も相俟って評判になりました。本書では、「何も考えずに『当たり前』

ばかりやっている学校教育が、自分の頭で考えずに、何でも人のせいにする大人をつくる。」として、「宿題」「定期考査」「担任」など社会的にも当たり前前と考えられる学校の伝統的な教育活動や制度をやり玉に挙げ、その廃止を提唱し、替わる新たな実践を試み、その成果について記述しています。

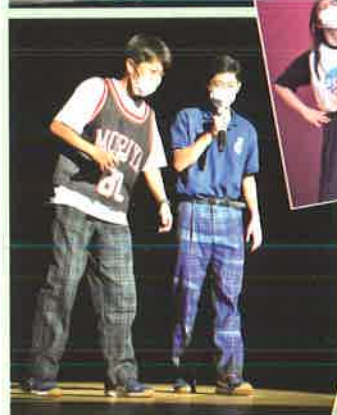
「当たり前」であるということを疑うこと自体は大いに結構なことですが、しかし、疑うことが即やめること、変えることになるわけではありません。(前号の内容とかぶつてきそうですが)学校でやっていることには必ず意味があります。(今回のコロナ禍で全ての学校関係者が再認識したことでも)もし、意味なくやられていることがあればそれは最早「当たり前」ではなく、やる価値のない無駄なことであり、即やめるべきです。「当たり前」と評価されることには、当然その理由や価値があるはずですが。その理由や価値をしっかりと判断することが肝要であると考えます。

本校においても「当たり前だから」だけを根拠とすることなく、その意義・効果をしっかりと見直し、判断して学校行事をはじめとする教育活動を展開して参ります。

引き続き、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

第39回 緑峰祭

七月二日(金)、三日(土)の二日間の日程で第三十九回緑峰祭が実施されました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のなかで感染予防に配慮しながら「学校祭の企画・運営・開催を通じて、仲間同士の相互理解を深める。」「創意工夫を凝らした作品制作や発表活動を通じて、達成感や満足感を得る。」「コロナ禍において実施可能なものを考えさせ、限られた条件の中でも互いに知恵を出し合う姿勢を育てる。」といったねらいのもとに生徒会を中心に活気ある行事になるように生徒全員が精一杯取り組み大成功で終了しました。また、例年ですとPTA学校食堂において保護者の方にもご協力頂いておりましたが、今年度に関しては新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して中止となりました。生徒には学校祭での労をねぎらってPTAから校章焼き印入りあんパンを配布しました。来年は、従来通りの「緑峰祭」が実施できることを願ひ、保護者の方々とともに触れあえる緑峰祭であってほしいと思っています。



「コロナ禍における 学校の新しい生活様式について」

教頭 斎藤 英基

この原稿を書いている九月は、北海道も新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言中であり、依然新型コロナウイルスの感染状況の収束の目途が立たない状況となっております。学校活動(学校行事や体験学習)においては、管理衛生マニュアル学校の新しい生活様式に沿った感染予防の対策をとりながら、その範囲内で厳選し進めている所です。

七月に実施された学校祭では、密を避けるための内容変更、準備期間の短縮、保護者・一般の方の参加をご遠慮していただく形での開催となりました。生徒はルールをしっかりと守りながら、高校生らしい頑張りを見せてくれました。最終日には、PTAから「よく頑張った金メダルあんパン」をご準備いただき配布することができました。

このように、今までとは違う「新しい学び」が進んでおり、生徒もPTAの皆様も「どうすればこの危機を乗り越えられるか。どうすれば、最大の効果をえられるか。」と知恵を絞り、実行のために汗を流していただいております。こういった「学び」は、今後も続く感染症対策にも活きると思いますが、将来社会に出た際にも必要なスキルの向上にもつながるものだと感じております。これからもしばらくはこの状況が続くと思いますが、学校としてさらに知恵を絞り、汗を流し、意義ある学校生活になるよう全力を尽くします。よろしくお祈り致します。

生徒会役員選挙

九月十三日(月)、生徒会役員選挙が行われ、新執行部が決定しました。

会長 二年三組 船本 輪
副会長 二年三組 野田 龍生
副会長 二年二組 木村さつき
書記長 二年三組 佐藤 咲良
会計主任 二年一組 小中 琉那
会計 二年二組 中村 姫菜
会計 一年三組 平田はるか
書記 二年三組 藤田 大夢
書記 一年一組 三好 椰月
書記 一年二組 高辻友理奈

生徒会長としての自分

旧生徒会長 花 岳嗣

私は生徒会として二年間、生徒会長として一年間過ごしました。時間が経つのはあっという間であり気づいたら会長としての任期が満了となっていました。

今思うと私が、生徒会長になって良かったことは、生徒会長としての自分は多くの人に支えられていたのだと実感できたことです。私が生徒会長になる前は、自分が生徒会長を



令和3年度
生徒会役員選挙

してもいいのか、他の人がやるべきではないのかと思悩みました。しかし、周りの人の支えや協力もあって、生徒会長をやり遂げることが出来ました。初めの頃は何もわからない状態で、失敗も多く、先生や執行部の仲間に多大な迷惑をかけてしまいました。ですが、様々な学校行事を行うことで、生徒会長として、またリーダーとして成長することができたと思います。

全員の後援者に

新生徒会長 船本 輪

こんにちは。十月一日より正式に生徒会長となりました二年三組の船本輪です。そして改めて、生徒会役員選挙ではたくさんさんの信任票をありがとうございます。このような形で挨拶できることを大変嬉しく思っています。

さて、生徒の皆さんは今いかがお過ごしでしょうか。おそらく、先輩方は進学に向けた勉強の追い込み、あるいは就職面接と多忙な時期かと思われます。しかしながら、新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言で思うように

ならず焦れたい気持ちを多くの方が抱いていると思います。そんな日常を少しでも改善し、楽しくしたいという思いから生徒会では今、体育大会に向けた準備を進めています。新型コロナウイルスの感染リスクを抑えつつではあります。できる限り例年の体育大会のような規模で実施できるよう努力し準備を進めています。今後も普段とは違う臨機応変な対応を求められるとは思いますが、皆さんの思いにに応えられるよう頑張っていきたいと思います。ご協力をよろしくお願い致します。

今年度の行事予定(後期)

10月1日…後期始業式
10月2日…ベネッセ駿台記述模試
10月9日…実用英語技能検定②
10月14日～10月15日…体育大会
10月16日…学校説明会
10月17日…全統共通テスト模試③
10月18日…振替休日
10月22日…実教高2公務員模試①
10月23日…全統記述模試③
10月26日…交通安全キャンペーン
(予備日27、28)
10月30日…ベネッセ駿台共通テスト模試
11月2日…開校記念日
11月6日…1・2年ベネッセ総合学力テスト模試
…道看模試⑤
…高2看護模試③

11月14日…珠算電卓実務検定
11月17日～11月19日…後期中間考査

11月26日…実教高2公務員模試②
11月27日…全統ブレ共通テスト模試
11月28日…ビジネス文書実務検定
11月29日…薬物乱用防止教室

12月3日…芸術鑑賞
12月6日～12月7日…CTEC
12月17日…2年大原基礎力判定試験①
12月22日…全校集会
12月23日～1月16日…冬季休業
1月15日～1月16日…大学入学共通テスト

1月17日…全校集会
1月21日…実教高2公務員模試③
1月22日…実用英語技能検定③
…2年全統共通テスト模試
1月23日…全商簿記実務検定
1月27日～1月31日…3年学年末考査

1月29日…第3回漢字能力検定
1月30日…全商情報処理検定
2月5日…ベネッセ大学入試
…共通テスト模試
…高2看護模試④

2月6日…全商商業経済検定
2月8日…実教高2公務員模試④
2月10日…推薦面接日
2月22日～2月25日…学年末考査
2月28日…卒業式予行

3月1日…卒業式
3月3日…学力検査
3月4日…面接検査
3月18日…2年基礎小論文テスト①
3月24日…終業式・離任式
未定…2年見学旅行

進路に向けて

「就職試験開始」

進路指導部長 笹原 義治

民間就職希望者が十八人と半減！
管内求人倍率一・一七倍！

今年も就職試験が例年通り九月十六日から開始されましたが、今年度の本校三年生の民間就職希望者が昨年度比二十二人の減の十八人（※開校以来最少）となりました。この傾向は管内においても近年減少し続けて、今年度は卒業予定者数全体の二〇・〇％となっています。

ハローワーク函館発表の「新規高卒者の求人・求職状況」（七月末現在）によると、①求職者数六二三人で、昨年同期比一〇九人（一四・九％）減少。②求人数七二八人で、五〇人（七・四％）増加。③求人倍率（＝求人数／求職者数）一・一七倍で、〇・二四ポイント増加。（※リーマンショック以降で一・〇倍を超えたのは令和元年と二年）④職業別状況では、管理・専門・技術を除き、事務（四三・二％）、販売（一一・二％）、サービス（＋一六・五％）、生産工程（＋一五・九％）増となっています。

2学年 探究型フィールドスタディの実施

7月16日(金)

2年生が7月16日にフィールドスタディを実施しました。地元企業でのフィールドスタディ（会社見学・職場体験）を通して、地域や企業とのつながりを学び、企業が取り組んでいる社会的な諸課題を知り、地域との関わり方を『自分ごと化』として捉え、新たな発見や働くことの意義と目的、自分の将来の生き方・在り方を考える機会となって欲しいという思いから計画・実施されました。この経験が進路決定の手助けとなることを願っています。



編集後記

「松並木」一一九号が完成しましたのでお届け致します。今年度前期は新型コロナウイルス感染症の影響から、いくつかのPTA活動も中止となるなかで保護者の皆様にはご協力を頂き誠に有り難うございました。今後も、保護者相互の繋がりを作る場面は難しい状況にありますが、この「松並木」を通じて少しでも保護者の皆様と関わりが持てる機会になればと考えています。保護者の皆様には、健康に十分ご留意され、引き続き本校のPTA活動にご理解を頂き、後期もご協力をよろしくお願い致します。